

## カンボジア村落開発促進のための 人道的地雷撤去支援報告書

第4四半期事業報告: 2021年1-3月



**MAG (Mines Advisory Group)  
CAMBODIA**

#9AB, Street 446, Sangkat Toul Tom Pong I,  
Khan Chamkamorn, Phnom Penh, Cambodia

Tel: +855 (0)23 215 115

[www.maginternational.org/Cambodia](http://www.maginternational.org/Cambodia)

## プロジェクト

1992年にカンボジアで事業を開始して以来、MAGは9,500万㎡以上の土地を地雷の影響を受けてきたコミュニティに返還し、35万個以上の危険物を破壊して、190万人以上の女性、少女、男性、少年の直接的な利益に貢献してきました。人口の80%が農村部に住み、経済的打撃に対して非常に脆弱な国では、地雷汚染の存在が、地雷被害を受けたコミュニティの貧困削減と開発への新たな取り組みを妨げ続けています。MAGはカンボジア王国政府（RGC: Royal Government of Cambodia）を支援して土地を安全で生産的に使用できる状態に戻し、「地雷のない2025年」構想を支援しています。

テラ・ルネッサンスからの、「カンボジアのコミュニティ開発を促進するための地雷調査と撤去」というプロジェクトへの12ヶ月間の多額の資金提供をもって、MAGは優先地域の技術調査と撤去を実施するための機械操作ユニット(MOU: Mechanical Operations Unit)を配備しました。

### 目的

カンボジア農村地域における、地雷に汚染されたコミュニティの長引く貧困の削減と社会経済的復興に、地雷の撤去を通して貢献する。

### 目標

コミュニティ発展の機会を最大にするために、地雷に汚染されていると疑われる地域での機械による調査と地雷の撤去を支援する。

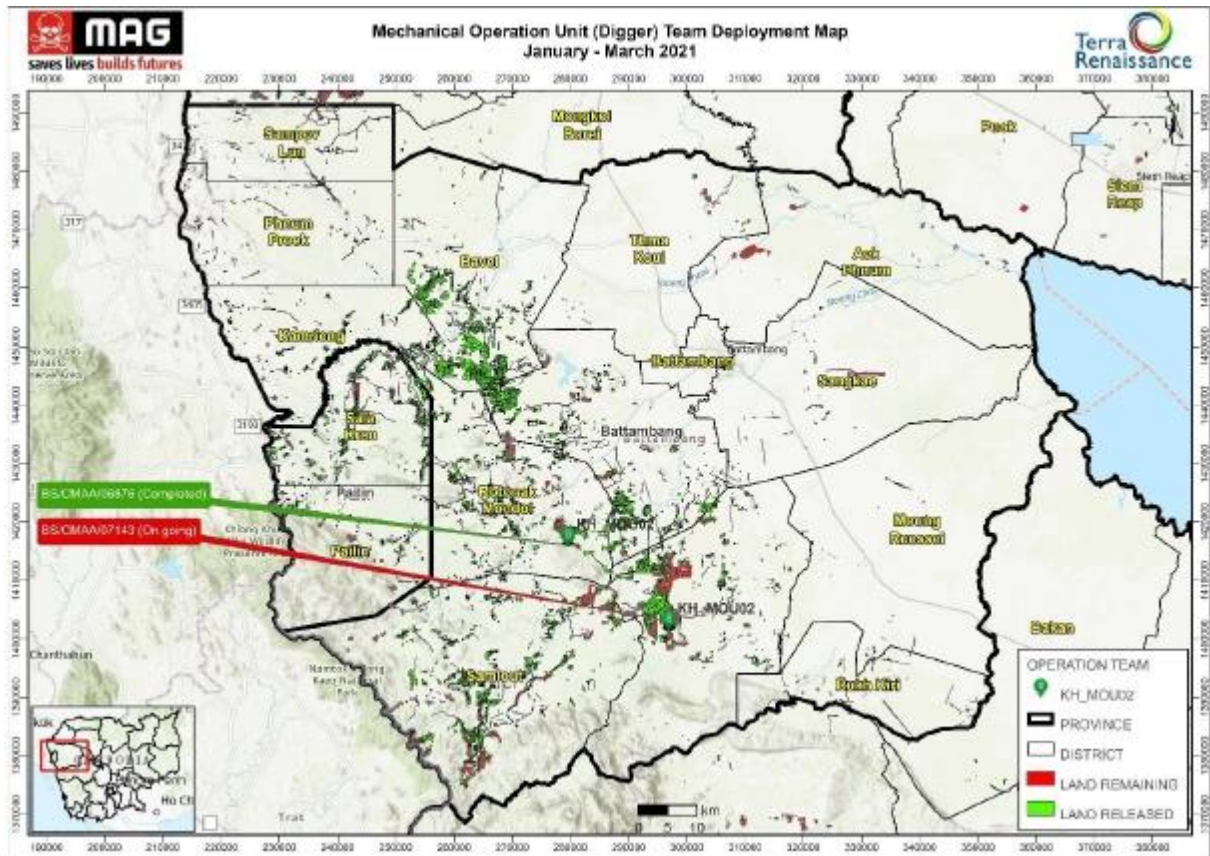
## プロジェクト成果概要

活動	期待される成果の合計	第4四半期達成成果	達成された成果 (これまでの合計)	達成率(%)
DIGGERD-250機械操作ユニットの調査と撤去活動によって返還された土地	250,000㎡	237,536㎡	324,833㎡	130%
プロジェクト実施地域で発見された地雷とその他の爆発性戦争残存物の安全な撤去と破壊	該当なし	6つの対人地雷を破壊	9つの対人地雷を破壊	該当なし
受益者数(人数)	4,148	1,406	5,554	139%

## プロジェクト

第4四半期、MAGは機械操作ユニットを派遣し、以下の地図に示すように、バタンバン州のコッククララ郡とラタナック・モンドル郡で地雷撤去活動を行いました。チームは237,536㎡の地雷に汚染された土地を返還し、6つの対人地雷を発見・破壊しました。当四半期に解放された土地は、3家族10人（男性4人、女性2人、少年3人、少女1人）の直接的な利益に貢献しました。また、間接的には321家族1,396人（男性501人、女性433人、少年168人、少女294人）が裨益しています。

第4四半期の機械操作ユニットの地雷撤去の成果は、第3四半期に報告された成果の約4倍です。これは主に、この四半期にチームの活動が中断することなくフル稼働し、138,418㎡の土地を解放することができたことによるものです。



## プロジェクトの成果と影響

カンボジアは熱帯モンスーン気候で、5月から11月までの雨季と11月下旬から4月までの乾季の2つの季節があります。そして農家は主に雨に頼って農作物を栽培しています。しかし、地雷の存在は、生産的な利用のための土地へのアクセスを妨げて続けています。農民は経済的な必要性から、また限られた生計手段を補うために、地雷が埋まっている可能性がある場所でリスクの高い活動を行っている場合もあります。

加えて、新型コロナウイルスの流行はカンボジアの経済に大きな影響を与えており、今後数年間、カンボジアの回復力や経済成長率の向上が鈍化すると予測されています。新型コロナウイルスによる収入減は依然として広範囲にわたっており、脆弱なコミュニティの生活に大きな影響を与えています。2020年初頭にカンボジアで最初に発生して以来、タイで働いていた何千人ものカンボジア人労働者がカンボジアに戻ってきています。その大半はバタンバン州に住んでいて、ほとんどが失業に直面し、生活の糧を農地に大きく依存しています。そのため、この厳しい経済状況下では、安全な農地へのアクセスがより一層重要になります。

今回のプロジェクトで、機械操作ユニットは324,833㎡の地雷で汚染された土地を返還しており、これはプロジェクト目標の130%を達成したことになります。また、9個の対人地雷も破壊しました。バタンバン州では、5,554人の人々がこのプロジェクトで地雷が撤去された土地から直接・間接的に恩恵を受けています。返還された土地は、米、キャッサバ、カシューナッツ、トウモロコシなどを育てる農業目的で使われます。農地が返還されたことで、家族が農作物を拡大したり多様化させたりすることが可能になり、食料安全保障と年間収入の向上に貢献しています。このプロジェクトの受益者数が多いのは、機械操作ユニットがこれまでに5つの地雷原で活動しているからです。また、間接的な受益者のデータには、地雷原に隣接する地元の村のすべての人々が含まれています。



## 追加情報

2021年3月中旬、MAGはテラ・ルネッサンスにDIGGER D-250機械装置の配備を支援するための追加資金を求める提案書を提出しました。この機械装置は完全武装の遠隔操作機械で、機械操作ユニットが操作します。MAGは、2021年3月19日にこの寛大な継続資金の確認をしました。

2021年3月31日現在、新型コロナウイルスが確認された件数は2,440件に達し、2020年1月から大幅に増加しています。この増加は主に、2021年2月20日に4人の外国人が地元ホテルの警備員を買収して、カンボジアに到着した直後に隔離施設から逃げたことから始まった、新型コロナウイルスのコミュニティ感染によるものです。カンボジア政府は、新型コロナウイルスの拡散を抑制するために、国内で様々な規制や予防措置を急速に実施しました。その結果、MAGは3月の活動期間中、人の集まりが必要となる地雷撤去前後の評価、開所式、タスクの引き渡し、これら全てを中断することを決定しました。本助成金のチームは大きな影響を受けていませんが、国内チームは引き続き動向を注視し、新型コロナウイルスに関連する適切な予防・緩和策を実施しています。これには、マスクの着用、手指消毒剤の使用、ソーシャル・ディスタンスの維持、大規模な集会の回避などが含まれます。さらに、すべてのスタッフは、各オペレーションサイクルの開始時に、派遣前の健康に関する自己申告と体温チェックを継続して行い、現場では1日2回の症状チェックと体温チェックを行っています。

新型コロナウイルス関連の渡航制限にもかかわらず、2021年2月末までに新しいカントリー・ディレクターが到着したことで、MAGはプログラム中にすべての国際スタッフを配置することができました。すべての国際スタッフの到着により、プロジェクト全体の管理が改善され、全体的な成果の達成がサポートされます。

### プロジェクト中の写真

これらの写真は、第4四半期中にバタンバン州コスクララ郡とラタナック・モンドル郡で行われたMOUチームの活動中に撮影されたものです。

